

川越市地域自立支援協議会 会議録

会議の名称	令和7年度 川越市地域自立支援協議会 第2回全体会																	
開催年月日	令和8年3月6日（金） 15時00分～16時10分																	
開催場所	川越市民サービスステーション会議室																	
出席者（委員） 氏名（人数）	高橋 幸裕 座長	金本 徳夫 委員	種子 幸奈 委員	阿部 浩一 委員	内山 智裕 委員	高梨 雅子 委員	溝井 啓子 委員	水見 哲也 委員	湯宮 薫 委員	木村 智美 委員	佐藤 八重子 委員	原 恭子 委員	原田 健汰 委員	高橋 裕次 委員	檜村 千寛 委員	中根 祐紀 委員	野沢 桂子 委員	(計17人)
欠席者（委員） 氏名（人数）	神田 純徳 委員	小林 幸路 委員	岩間 亜希 委員	(計3人)														
出席者（関係者）	相談支援事業所 ヨハク	戸田 竜也	相談支援事業所 ヨハク	山内 智史	相談支援事業所 さぷり	佐藤 美幸	医療法人三信会 岸病院	佐藤 正樹	障害者総合相談支援センター	宮田 一久 新津 重隆 茂木 将史 名取 奈美	島野 直哉 水沼 友美	(計10人)						
傍聴者	3名																	
事務局職員 職 氏名	障害者福祉課計画担当	主 査 田中 頼子	障害者総合相談支援センター	所 長 新井 融	副主幹 石曾根 成広	主事補 大木 愛美												
会議次第	1 開会 2 報告 (1) 令和7年度相談支援連絡会実施報告について 3 議題 (1) 令和7年度自立支援協議会活動報告及び令和8年度自立支援協議会協議概要（案）について 4 その他 (1) 事務連絡 (2) 開催等案内 5 閉会																	
配布資料	・会議次第 ・令和7年度川越市地域自立支援協議会第2回全体会 会議資料 ・川越市地域自立支援協議会委員名簿																	

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>本会議の開催に当たり 3 名の傍聴希望があった。 傍聴について出席委員全員の了承により認められる。</p>
	<p>1 開会</p>
	<p>2 報告</p>
	<p>(1) 令和 7 年度相談支援連絡会実施報告について (資料：令和 7 年度川越市地域自立支援協議会第 2 回全体会資料)</p>
事務局	<p>資料 1～4 ページに基づき概要を説明した。</p> <p>○相談支援連絡会について (内容・実績)</p> <p>2 部構成のうち、1 部において新規事業所紹介や課題別研修として「地域生活支援拠点事業について」、「障害者虐待防止研修」、「地域包括支援センターについて」などを実施し、2 部においてグループ演習を行い、主任相談支援専門員をファシリテーターとして協議会の個別部会に応じた 6 グループを編成し、個別事例の検討から地域課題の抽出及び改善に向けた取組の検討を行った。</p> <p>参加者としては、相談支援専門員をはじめ、相談支援員、地域生活支援拠点事業受託者、障害者福祉課計画担当、同課福祉サービス担当が参加しており、例月 40 名前後から多い月には 50 名近くの参加が得られた。</p>
関係者	<p>【意見等】 (意見等に対する回答は事務局による)</p> <p>・主任相談支援専門員として運営に携わっているが、昨年度から今年度にかけての変更点として、今年度の下半期から演習グループを各部会に応じた編成としたことが挙げられる。各グループのファシリテーターが各部会に参画しており、相談支援専門員(以下「相談員」という。)の個別事例から抽出された地域課題について各部会に提示することを取組のひとつとしているが、同様に各部会からも相談支援連絡会で取り組む内容等を提示いただくなど相互作用のもとに協議会及び連絡会が発展していくと良いと考えている。</p>
事務局	<p>→ご意見のとおり、地域課題及び支援課題は個別事例から抽出されるものであり、相談支援専門員による課題提示が重要であると</p>

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>考えている。各部会に応じたグループに属する相談員も今後協議会への参加等からより相互かつ密な連携が図られるよう取り組んでいきたい。</p>
	<p>3 議題</p> <p>(1) 令和7年度自立支援協議会活動報告及び令和8年度自立支援協議会協議概要(案)について</p> <p>(資料：令和7年度川越市地域自立支援協議会第2回全体会資料)</p> <p>資料5～14 ページに基づき各部会長より以下のとおり報告した。</p>
部会長	<p>○仕事・活動部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の就労支援に関わる各機関が互いの役割を理解し関係性を深めることで、就労支援における連携を促進し、障害者が希望する就労の実現に寄与することを目的として、令和7年12月10日に川越市障害者就労支援情報交換会を開催した。 ・令和8年度第2回部会において「川越市障害者就労支援情報交換会」を開催予定とする。なお、当該情報交換会は毎年度実施予定とするが、仕事活動部会による運営は令和8年度までとし、以降については独立した運営方法を検討する。 ・安定した就労の確保に当たり余暇活動に焦点を当てた協議を実施する。なお、協議に当たり、市内における余暇活動の現状把握及び情報共有を進めていく。
関係者	<p>【意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業所との連携強化に当たり、今後就労移行支援事業所による活動との連携もさらに深めていきたいと考えている。
部会長	<p>○まちづくり部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中サービス支援型共同生活援助の評価について、令和6年度より全事業所に対するヒアリング及び書面による評価体制を構築し、令和7年度からはヒアリング時間の確保等に当たりヒアリング対象事業者を隔年として実施した。 ・地域生活支援拠点に関する検討として、現在の体制である「多機能拠点型」から、目指す体制として「併用型(多機能拠

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>点型+面的)を整備し、機能の充実を図ることについて協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉施設従事者等による障害者虐待事案について、情報共有及び検証を実施し、意見交換や対応に関する助言等を実施することによって、障害者虐待事案に対する対応力の強化を図った。 ・令和7年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業「共同生活援助事業における運営の適正化に向けた研修」におけるモデル事業に市が採択されたことにより、共同生活援助事業所管理者向け研修が開催された。 ・令和8年度より日中サービス支援型共同生活援助の評価についてはまちづくり部会による実施体制を変更し、各部会の委員から横断的に評価者を選出することを予定している。
委員	<p>【意見等】（意見等に対する回答は事務局による）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中サービス支援型共同生活援助評価の実施体制の変更点について、具体的に伺いたい。
事務局	<p>→評価者を協議会の20名の委員から選出することを予定している。具体的な実施体制等については令和8年度川越市地域自立支援協議会第1回全体会において議題とさせていただき予定である。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助事業所の人材不足が顕在化しており、施設の開所に至らない現実がある。賃金等の影響もあると思われるが人材確保について行政側の援助もお願いしたい。
事務局	<p>→今年度の日中サービス支援型共同生活援助のヒアリング対象事業者からの報告として、技能実習生をはじめとした外国籍の方の職員採用を行っているとの話があり、市としても状況を把握していくとともに適宜情報提供させていただきたいと考えている。</p>
部会長	<p>○こども部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービス事業所における障害児への虐待事案について、意見交換や対応に関する助言等を実施し、障害児支援に対する対応力の強化を図った。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
委員等	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児の支援に関する協議について、「医療的ケア児の支援ガイドブック」の作成を中心に協議し、「作成のスケジュール」、「冊子の内容」、「作成に当たっての協力依頼機関」等について検討し、具体的な作成方針を定めた。 ・支援ガイドブック作成に当たって、医療的ケア児の現状を把握するとともに市関係課との連携に関する情報共有や医療的ケア児等コーディネーターとの連携強化の取組についての協議も実施した。 ・「医療的ケア児の支援ガイドブック」は令和8年度中の作成及び配布（配架等）を予定している。 ・相談支援連絡会において地域課題として抽出された「相談支援専門員と放課後等デイサービス事業所との連携強化」に当たり、具体的な取組について協議を実施する。また、放課後等デイサービス及び児童発達支援の事業所情報について、情報アクセスの向上について検討を予定している。 <p>意見等なし。</p>
座長	<p>○地域移行部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内精神科病院の医療相談員の参画及び協力をいただき、本市における「にも包括」の「構成要素」、「構築プロセス」、「評価基準」等について協議した。 ・「にも包括」のあるべき姿と目標の設定に当たり、地域の保健・医療・福祉関係者によるワークショップを開催し、精神障害のある方に対する支援や課題の見える化に取り組んだ。 ・「にも包括」の構築プロセスの進行に当たり、具体的な取組を実施する。取組として、精神障害のある方に対する支援ツールとして「（仮称）地域移行ガイド」の作成並びに支援力向上に当たり、障害福祉サービス事業者等を対象とした研修又は事例検討会の実施を予定している。
関係者	<p>【意見等】（意見等に対する回答は事務局による）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行部会全体の構造が昨年度、今年度、来年度と変容してきたように感じている。昨年度の協議における、精神科病院の相談員との意見交換等が必要との意見を踏まえて、今年度は地域移行部会にオブザーバーとして精神科病院相談員の参画が得られ

議事内容	
発言者	議題・発言内容
関係者	<p>たことが大きな変化であった。また、今年度は保健・医療・福祉関係者の参加によるワークショップを実施しており、来年度に向けてさらに広がりが見られると考えている。</p> <p>・にも包括は障害者総合支援法、介護保険法、児童福祉法など制度を横断して精神障害者への支援を検討するものであり、自立支援協議会の地域移行部会に協議の場を位置付けていることがにも包括の創設背景と合致していないと考えている。その点については、改めて検討いただきたい。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>(1) 事務連絡</p> <p>(資料：令和7年度川越市地域自立支援協議会第2回全体会資料)</p> <p>事務局より資料15ページに基づき説明した。</p> <p>令和8年度川越市地域自立支援協議会第1回全体会（予定） 日時：令和8年5月22日（金） 15時から 場所：川越市民サービスステーション会議室 内容：① 令和8年度川越市地域自立支援協議会の概要について ② 各部会の編成及び協議事項について ③ その他</p>
委員	<p>(2) 開催等案内</p> <p>毎年4月2日は国連総会において「世界自閉症啓発デー」と定められ、4月2日から4月8日までの期間は「世界自閉症啓発週間」として認識されている。期間中は世界各国や日本全国で啓発イベントが開催されており、川越市においても令和8年4月12日（日）にウェスタ川越で「ライトイットブルー川越」が開催される。ぜひ参加していただきたい。</p>
	<p>5 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>